



2025年5月15日

各 位

会 社 名 日 産 化 学 株 式 会 社
 代表者名 取 締 役 社 長 八 木 晋 介
 (コード番号4021 東証プライム)
 問合せ先 経 営 企 画 部 長 松 岡 健
 (TEL 03-4463-8120)

中期経営計画『Vista2027 StageⅡ』スタート
 ―価値共創で未来に挑む企業へ―

当社グループは、2022年度に始動した6カ年中期経営計画 Vista2027の後半3カ年(2025年度～2027年度)にあたる StageⅡ をスタートさせました。

1. StageⅠ 総括

中期経営計画に対しては目標を下回りましたが、売上高およびすべての段階における利益が過去最高を更新しました。

(1) 売上高・利益 (単位:億円)

	2023年度	2024年度		
	実績	実績	前年比	旧中計比 (2022年5月開示)
売上高	2,267	2,514	+247	-36
営業利益	482	568	+86	-17
経常利益	516	580	+64	-15
親会社株主に帰属する当期純利益	380	430	+50	-10

(2) 課題と対応

今後の成長に向け、①新製品・新事業の創出、②適切な経営資源配分、③化学品セグメントの収益性改善、への対応が喫緊の主要課題となっています。M&A(合併・買収)を含め戦略投資を積極的に行うことで、事業ポートフォリオの拡充、現有事業の拡大および製品開発期間の短縮を図ります。また、2024年度に化学品セグメントのサブセグメントであるファインケミカルの固定資産を減損処理しました。2025年度以降、不採算製品の見極めや種々のコストダウンを進めます。

2. Vista2027 StageⅡ 概要

最重要課題を新製品の創出としたうえで、長期経営計画 Atelier2050の実現に向けた通過点となる2027年度のあるべき姿を定めました。

(1) 2027年のあるべき姿

「現有事業が業績を力強く牽引し、新たなコア技術*を活用した製品開発が進展している」 *微生物制御、情報科学
 「サステナビリティに関わる取り組みが組織的に進められ、社会や環境の課題解決に資する製品・サービスを提供している」
 「デジタル基盤構築による、業務の効率化・高度化に向けた施策を実行している」

(2) 数値目標

1) 財務(単位:億円)

セグメント		2024年度	2025年度	2027年度
		実績	予想	計画
化学品	売上高	378	401	437
	営業利益	2	12	24
機能性材料	売上高	1,001	1,060	1,224
	営業利益	290	309	342
農業化学品	売上高	862	920	975
	営業利益	256	253	259
ヘルスケア	売上高	60	52	64
	営業利益	19	14	24
その他	売上高	213	189	230
	営業利益	1	▲12	1
合計	売上高	2,514	2,622	2,930
	営業利益	568	576	650
	経常利益	580	587	655

2) 非財務

気候変動の緩和	温室効果ガス(GHG)排出量2018年度比 30%以上削減
ダイバーシティの推進	研究員に占める女性総合職比率 18%以上
人々の豊かな暮らしに役立つ 新たな価値の提供	連結売上高に占める社会課題解決に貢献する製品・サービスの合計 売上高 60%以上
人材の確保・育成	社員意識調査の設問、人材育成に対する肯定回答率 65%以上

3) 経営指標

売上高営業利益率	ROE	配当性向	総還元性向
20%以上	18%以上	55%以上	75%以上

(3) 基本戦略

1) 「現有事業の利益拡大」

半導体をはじめ、成長が見込まれるセグメントへM&Aを含めて経営資源を集中投下する一方で、コストダウンおよび低収益製品を持つセグメントの構造改革に積極的に取り組む。

2) 「2030年を見据えた新製品の開発」

情報通信、環境エネルギー領域では、ターゲット材料を明確化し、開発を加速する。ライフサイエンス領域の創薬に関しては、農・動物薬に加え、ヒト用核酸医薬品に注力する。

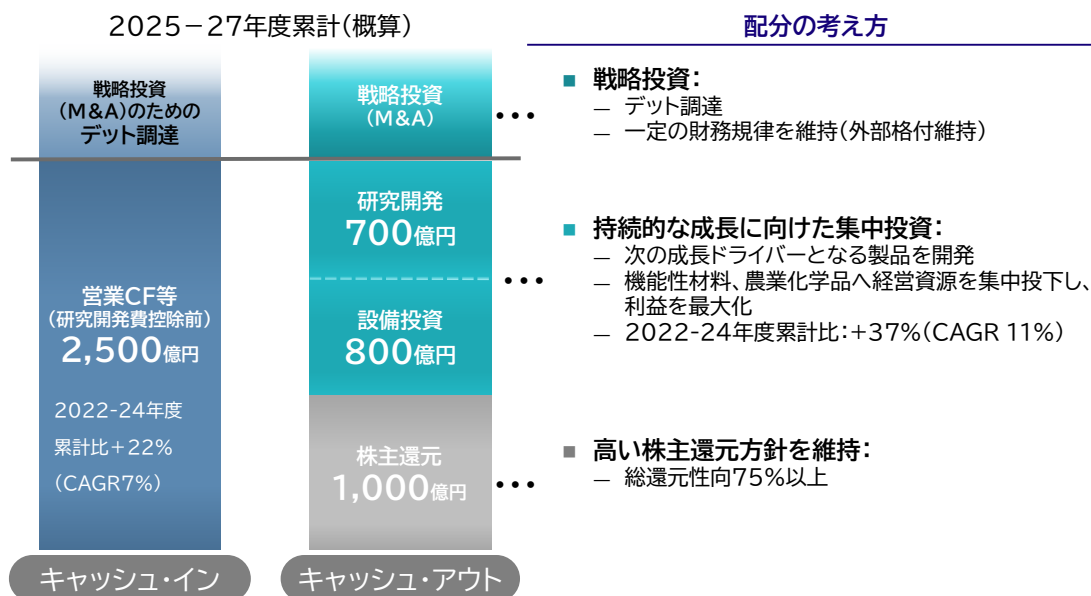
3) 「事業基盤の強化」

企業理念およびあるべき姿の実現のため、資源を最適に配分し、人材育成の推進を通し企業を支える従業員重視の体制を強化する。

社会のデジタル化・グローバル化、そして、多様化・高度化する市場の要求に対応できるよう、事業基盤を強化する。ガバナンス向上・コンプライアンス強化に関係会社を含めグループ全体で取り組む。

(4) キャピタルアロケーション(イメージ)

新製品・新事業の創出強化に向け、M&Aを積極的に活用します。



以 上